

海外との取組状況の比較

2024-06-18

分野別の比較

フレームワーク

- ◆ 米国およびシンガポールがフレームワークを構築。韓国もフレームワークを整備。
- ◆ EUは、AI法で体系を構築。
- ◆ 日本は、AI事業者ガイドラインを整備。
- ◆ 世界がほぼ同じペースで推進している。

評価、テストイング

- ◆ 英国は評価とテストイングを重視。評価プラットフォームとしてオープンソースツールを提供。AIシステムに対するテストイングも開始している。
- ◆ 英国と米国はジョイント・テストイングを試行することで合意。
- ◆ 日本は、産総研での「機械学習品質マネジメントガイドライン」やツール開発などを実施しており、海外に遅れているわけではなく、進んでいる部分もある。
- ◆ 但し、国内情報収集の強化と発信を行っていく必要がある。

標準

- ◆ 各国とも標準の重要性を指摘。
- ◆ 米国は、標準に対する計画案を公開。緊急、制度変更を伴うもの、中長期にプライオリティをつけて実施する予定。
 - まずはタクソノミを整備。
- ◆ 日本は、AIに関する国際標準ISO SC42で実施している55プロジェクトの内17プロジェクトでリーダーシップを発揮するなど、SC42での最大級のコントリビュータであり、リーダー国の一つと考えられている。

AISI

Japan AI Safety Institute